

ふたつ 広報



カメラリポート

ほたるをふやせ！

養殖にはげむ^福生ほたる研究会

初夏の夜空に飛びかうほたるは、農業や都市化に伴う自然破壊により、全国的にも減少の一途をたどり、幻の虫となりつつあるが、福生ホタル研究会では、福生市だけはいつまでも保護しようと、冷い北風の吹きすさぶ冬の間でも、熱心に養殖の研究にはげんでいる。

この詩情豊かな虫の成長に願いをこめて、黙々と研究にうちこむ人たちの姿をカメラで追ってみた。



養殖研究所は、熊川牛浜の豊富な清水のわく崖下にある。

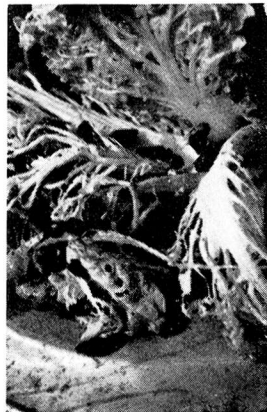
ほたるの成長に必要なのは、きれいな水、きれいな空気、餌となるカワニナがいること、周囲が草木でおおわれていることであるが、ここはこの条件をみたく恰好の場所だ。会員たちは交替で見回って、成長ぶりを観察している。写真の水車は、わき水が冷たすぎ酸素が不足するため、会員が考案したもの。

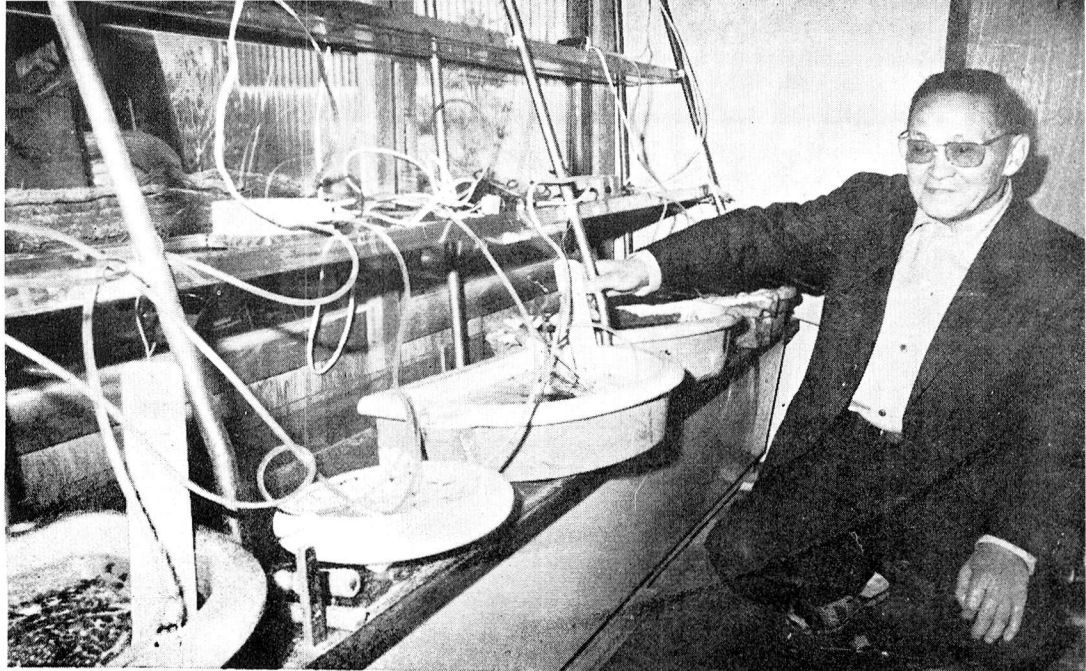
▶「こんこんとわき出て、冬でも水枯れを知らない崖の清水この水が下の川に送られ、ほたるにとつて『甘い水』となる。しかし、昨年の台風二〇号の大雨では、この水もかなり汚染されたためか多くのほたるの幼虫が死んだという。大雨のときには、地下水も汚染されるらしい。大雨のとき、どうするか、これがこれからの大きな課題だ。



◀ほたるを育てるには餌となるカワニナもたくさん育てなければならぬ。カワニナの好物はレタスとジャガイモ。会員たちは、週二回餌をあたえている。二日もすると、食へつくされてしまうという。

下は野菜を食べているカワニナ



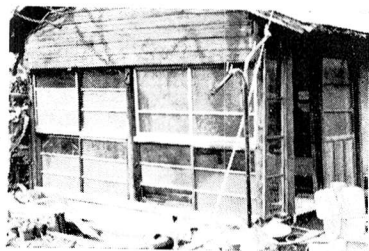
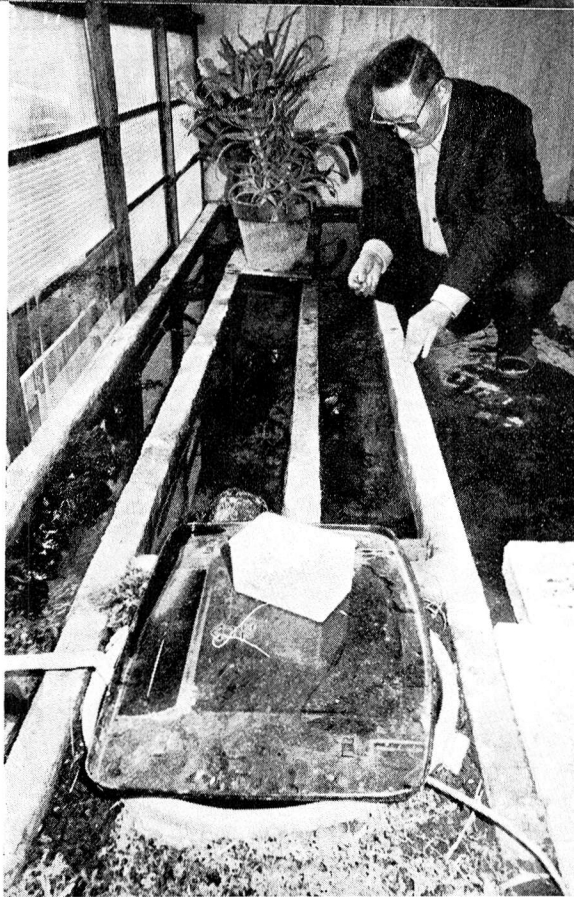


渡辺 継二郎さん（福生市熊川九五〇七歳）がいろいろと研究の結果、自宅納屋を改造してつくったほたるの飼育室

上はほたるの幼虫を育てる水槽、右はある程度大きくなった幼虫をはなす人工の小川。水草が生え、きれいな小石もならべられている。ほたるの飛びたつ夏までには、周囲を芝か草でおおう計画だという。

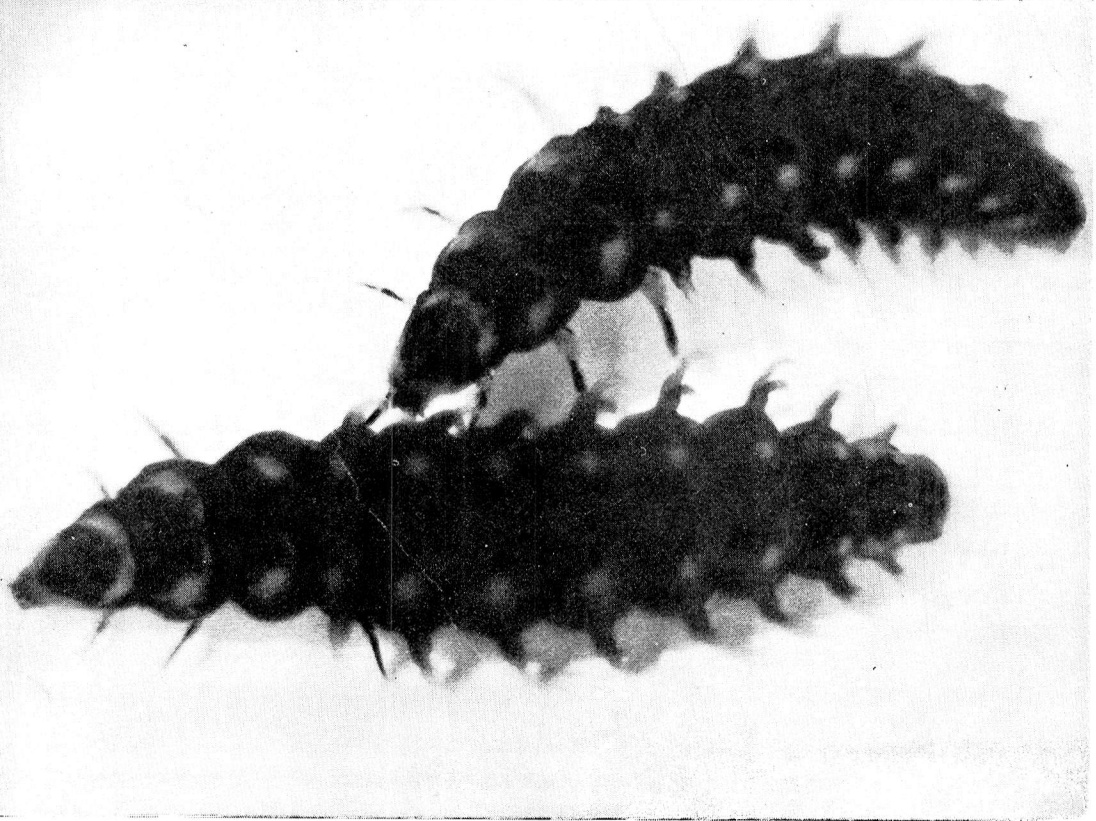
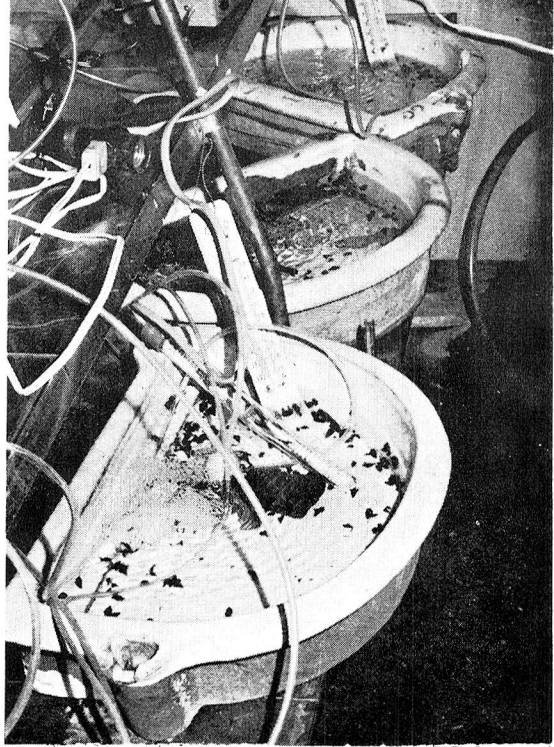
下は飼育室を外から見たところ、採光に工夫がしてある。

渡辺さんは『この飼育室の水は、大雨のときでも汚染される心配がありません。』と語っていました。



右は幼虫を飼育する水槽、ヒーターで水温を十四度に保ち、エアポンプで十分な酸素を送っている。
下は、カワニナをどんだん食べ育っているほたるの幼虫、今年成長がよすぎるほどだという。
外の寒さも知らず、元気に動きまわっている。この幼虫が五月上旬陸へ上ってさなぎになり、ふかして飛びたつわけである。

(接写レンズで撮影、実際の大きさは1.5cm〜3cm)





現在、研究会の会員は渡辺 継二郎さんを会長とする13名。

ほとんどが福生で生れ育った人たちであり、みんなの脳裏には、こどもの頃、ほうきをもって、むらがるほたるを追った自分の姿がやきついてはなれないようだ。

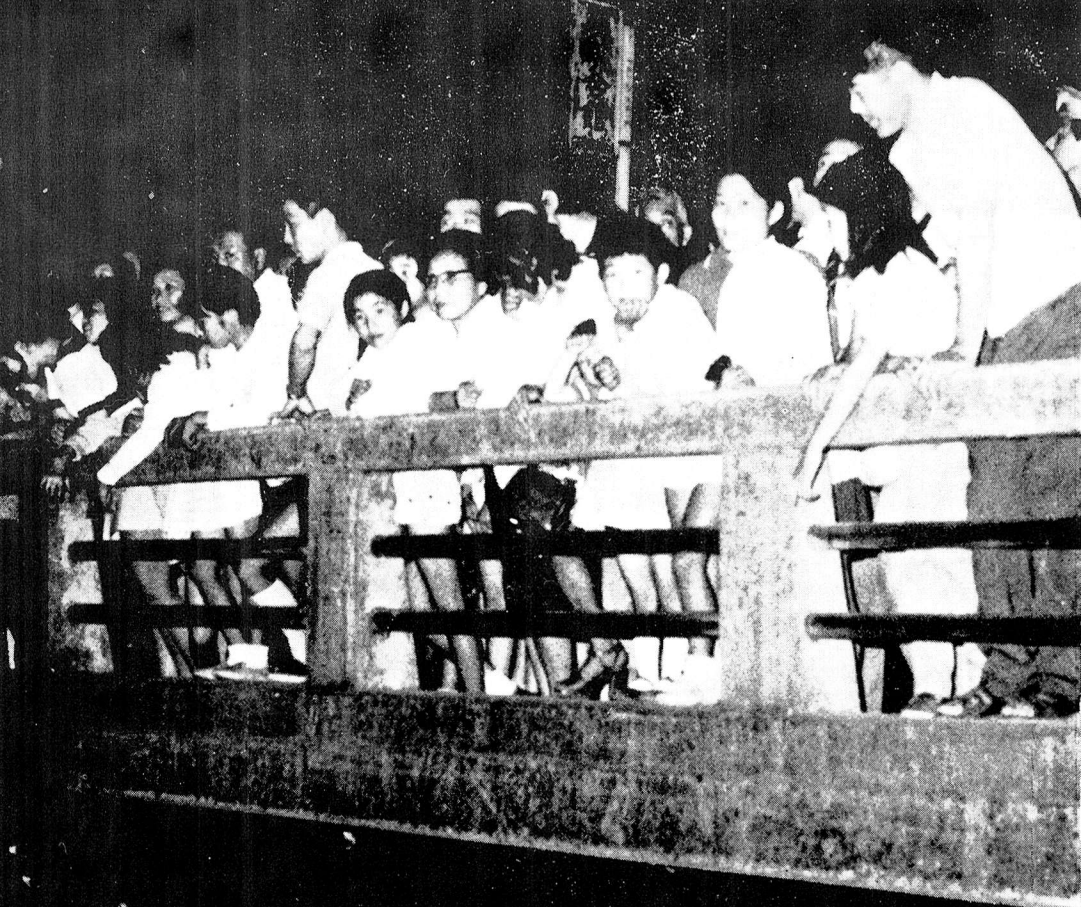
この研究会は、三年前に生れた。熊牛町会では以前から玉川上水ベリに自然発生するほたるの保護にのりだしていたが、このめぐまれた自然環境をいつまでも保護するには、ほたるの養殖をはじめようと、自然と集ってできたグループである。

今夜は、先日岡崎市の養殖状況を視察した報告会。

三人の参加者から、岡崎市の詳しい情況が説明され、熱心な話し合いが夜遅くまで続く。

福生ほたる研究会々員

田中 達治、	川辺 忠蔵、	森田 喜一
野島 茂夫、	小林 良一、	後藤 福造
小林 暢吉、	小林 菊三、	森田 潤三
川辺 堅一、	砂村喜美子、	長谷川豊治
渡辺継二郎		



この写真は、昨年六月玉川上水の青梅橋附近に自然発生したホタルを見ようと人々が押し合いへしあいしている光景である。

昔をよく知る人にとって、急に馬鹿げたことであるがこれが現実の姿なのである。

都心から来た人々は口々に「長い間見ていなかったのでは非見たかった」「こどもに一目見せてやりたかったから」と語ったが、この言葉は人間が都市生活の中で自然に飢えている何よりの証拠だろう。

福生ホタル研究会の人は「私は云う。私たちはいろいろと研究しておりますが、一番痛感することは自然の偉大さです。自然は人間の力では及ばない力を持っている」といふことがよくわかりました。

自然保護の問題が、クロアツアップされてきた現在わたくしたちは、この会員たちの言葉の意味を十分かみしめる必要があるのではないだろうか。そして、みんなの力でこの福生市の恵まれた環境を、いつまでも守りたいものである。

”これからの市政にのぞむ”

新春座談会

昭和四十八年の新春にあたり、五人の市民の方に「これからの市政にのぞむ」というテーマで、いろいろと語っていただきました。なお、出席者は、昨年実施した市長へ手紙を出す月間にさいし、福生市の将来について述べられた方に出席していただきました。



司会 みなさん、あけましておめでとうございます。
 昨年の市長へ手紙を出す月間に際しましては、いろいろと貴重なご意見をいただきましたが、本日は手紙では十分云えなかったことまた、夢物語のようなものでも結構です。

下水道事業

本年から設計に着手

市長 みなさん、あけましておめでとうございます。
 本日はわざわざお越しくださいましてありがとうございます。
 どうか新卒でもありますが、大いに語っていただき、これからの市政への指針をあたえていただきたいと思います。



市の現況でございますが、市政施行以来、年目の新春をむかえ、着実な歩みを続けておりますが、三割自治などと呼ばれているように、財政面ではきわめてきびしいものがあり、真の地方自治とは云えないのが現況です。
 本年度予算によると、みなさんからおさめもらう税金が七億六

構ですので大いに語っていただきたいと思えます。
 どうぞよろしくお願ひいたしました。それでは、はじめに市長から市の現況等を含めて、挨拶をお願いいたします。

千万円、また市を維持していくために必要なお金は十九億円であり、その差をどうするかというのが大変な問題になっています。

一方、人口増に伴い、道路、下水道、ゴミ、教育、福祉などしなければならぬ仕事はどんどんふえています。幸い道路舗装率は実質六五%になり近隣市はもとより、全国の先進市にもおとらないまでになりました。

また消防行政も充実し、今年の四月から、現在の福生、羽村、瑞穂町で運営する消防署は東京都に移管する予定です。

下水道事業も本年から設計に着手します。昭和六十年頃から福生市でもしよじょに水洗便所ができるようになると思えます。

多摩格差、三割自治などいろいろと矛盾を含んだ現在の地方自治

治体のあり方ですが、私はこのよ
 うな中において、最も大切なものは真に市民のためになる市政を推進しなければならぬと考えます
 また、発展ということばはいろいろの意味に解釈されますが、私は市民が本当の教養を身につけたとき福生市が真に発展したときであると考えています。

これには学校教育だけでなく生涯教育ということも大切であると思えます。
 そして、本当に住みたくなるまち、魅力あるまちづくりができれば、商業の発展も、自ずとはかれることになると思えます。

老人対策にしても、現在福祉会館を中心としておこなっているものは一つの過渡的な施策と考えます。というのは、今の老人は現在の社会の発展を予想されなかっただろうし、趣味をもつとかという教育も受けなかった方が多かったわけです。現在は各人が結婚すればもう老人対策を考えなければならぬ時代であり、将来は変るべきものと思えます。

これからの施策は、時代の進歩と共に変わって重要で
 こういった意味で、本日は実現可能であろうとかならうと、今後の市政のあり方に正しい指標をあたえていただければ幸いです。

個性あるまちづくりを!

司会 それでは、はじめに現在の福生市をどう見るか、またどうお考えになっているかという点からはじめたいと思います。



坂本 現在の社会は、個人であれ強烈な個性を売り出す時代ですが、自治体にも、特色あるまちづくりが必要なのでは

ではないでしょうか。いままでの福生は、基地があるまちという印象だけですが、いつまでもこれではだめではないだろうか。たしかに、友人におまえのまちはどうなんだといわれても、横田基地のあるまちというだけで

出席者

(アイウエオ順 敬称略)

- 内山 大 (医師)
- 山 美子 (事務員)
- 桜沢 恵次 (東京新聞記者)
- 坂本 丁次 (元中学校長)
- 島 田 宇一 (元中学校教諭)
- 清水 希益 (高)

- 福生市長 石川 太郎
- 企画調査室長 大野 忠一
- 企画調査室主任 生 利

近の福生で感

すね。二十年間停んでいます。今まで、特色ある施策はなにもなかったような気がする。これからは、何か特色あるまちづくりがほしい。キャッチフレーズとして、健康で豊かな安心して暮せるまち」というようなものを定め、それにむかってすすむのも一つの方法ではないでしょうか。

坂本 市を外へ売り出すには、特色ある施策のほかにも、基本的なものがあるのではないのでしょうか。例えば、映画をつくるとか、絵画があるとか、名物のおいしいお菓子があるとか、福生音頭もできたが、そのほかにも市の歌などもつくって、イメージアップするよう、市も積極的にとりこんでほしいと思う。

じること、下の田んぼがなくなつたことが一番残念です。私自身、最初も田んぼがふえることがまちの発展と考えていました。が、大気汚染など公害問題がでてくると、健康的な市民生活をするうえで、人口増はかえってマイナスになるような気がするのです。が、……

そういう意味では、あの一面のれんげ畑がなくなつたのは大変残念に思っています。

市長 私もあの田んぼがなくなるのが残念だつたのですが、数年前から農家の土地から貸家をつくりたいという申請が多くあり、市としても個人の土地を制限するわけにもいかず、このままでは、水道や下水もなく、消防自動車も入れないところなどどんな家が建てられ、無秩序なまちになってしまつては大変です。この点は是非ご理解していただきたいと思うのですが……

島田 道路もよくなり、福生のまちも大変かわつてきました。が、文化的な面ではまだまだ遅れているような気がします。これからこの面を力を入れてもらいたいと思

夢は消費文化都市

島田 兄とおしとしては福生市は生産都市にはならないと思う。これらどんなまちづくりをするかを考えると、消費都市としてすすむであろうし、そこには当然消費文化都市ということになるのではないかと。文化的な施設や保健所などの機能のある健康で住みよいまちづくりが必要なような気がします。

坂本 たしかにそのとおりです。司会 ただいま消費文化都市という話がりましたが、具体的なアイデアがありますか。

外国の資料を完備した図書館を



島田 福生には横田基地があり、撤去といつてもなかなか思

う。騒音防止などは、強硬に申し込めば、アメリカの文化のよい所を吸収するような施策も必要ではないでしょうか。たとえば、図書館にしても、アメリカとの連携のもとに、外国の資料を完備したものをつくればすばらしいと思

もない、どうしても福生の図書館へ行かなければならないような図書館ができるのではないかと。清水 たしかにそうですね。外国では図書館に資料室や小さな講堂をつけ、そこを中心に老人むけ、婦人むけなどの講座をひらいたりコンサートなどもひらいていると聞いています。

そうすれば文化都市として特色あるまちづくりができるのではないかと。

内山 私は文化都市としてすすむ場合でも、健全な自然環境が一番必要であると思います。ですから自然保護をすすめるため、これは大変でしょうが自然の残っている所有地を公のお金で買いあげることに必要であり、また「空き地にはみんな木を植えよう」というキャッチフレーズのもとに植樹運動をやつたらよいと思う。この点については市の広報などでなん回もPRし、市民の頭の中にその必要性を理解させることも必要だと思

モクセイの香りでむせるまちに

島田 たしかに緑化が必要ですね。さきほど坂本さんから、絵画がきやお菓子などを売り出す話がありました。が、私は市の木にモクセイが決まっているのだからモクセイの林や街路樹をどんどんつくつたらよいと思います。

八王子市には桑の木、の街路樹という特色あるものがありますが、モクセイはさし木でふやせますが、各家庭でもみんな一本づつ植えて、福生へ行ったら、モクセイのかおりで、むせるようなどなどないばすばらしいと思います。(笑)

のぞまれる社会教育の充実

清水 さきほど内山さんから、人口増ばかりが発展ではないというご意見がありました。教育の面でも景的なものより質的なものだと思います。



文化都市として発展する場合、教養を身につける市民がふえることが必要と思いますが、このためには、こどものための施設や先生の確保なども大切です。

こどものときから、教育とか文化についてふれられるよう施設などもつくってもらいたいですね。私ほもと社会教育費をふやすべきだと思います。

最近市民大学講座などもはじまりましたが、もっとどんどん開くべきだと思います。そうすればさ

清水 たしかにこれからは、こどもたちにとっても、ドングリの木などは知らなくなってしまいますので、現在残っている自然をできるだけ残してもらい、また、市の木による緑化運動をすすめてもらいたいですね。

文化祭なども立派なのですが趣味の同好会のような型です。もっと市民に参加してもらうとかレレアルアップも必要のような気がします。とにかく、その人が一生芽が出るか出ないかは教育が根本であるので、教育面では、大いに力を入れてもらいたいと思います。

ほしい文化人とのふれあい

坂本 私はいちばんよい社会教育は、市の中に文化人がいることであると思います。

かつて青梅市には吉川英治、川合玉堂先生、また、秋川市にも野島の中悟堂先生がいましたが、市民がいなくなかちで影響を受けたようです。

もしいなければ、どんどん市によんで講演会などもよおし、市民と接する機会をもつことがよいと思います。

市長 たしかにそうですね。清水 主婦を対象にしているスポーツ教室などは、夜だけでなく、昼間も必要ではないでしょうか。主婦は夜は疲れてしまつてなかなか出られないと聞いています。自分都合のつく時間についても出て楽しめるようにすれば、もっと多くの参加者が得られるのではないのでしょうか。また坂本さんが文化人がいることが社会教育の

市民の声を聞いて

きめこまかな市政を

清水 これからの市政は少数の人を対象としたきめこまかな施策も必要のように思います。たとえばヨーロッパの道路は、身体障害者が車いすで自由に買ひのをした方が、外で楽しむことができるよう工夫されていると聞きました。

多くの人を対象とする施策と同時に、少数の対策も忘れてはならないと思います。そのとき、市民みんなの健康で住みよいまちづくりができるのではないのでしょうか。

島田 たしかにこれからはきまかい施策も必要だと思います。ですから市政モニターのような制度をつく

充実とつながるといってお話がありましたが、スポーツの面でも、すぐれたコーチが必要だと思います。一流のものを目ざさないと、なかなか技術はあがりませんから。市長 四月から、市民体育館がオープンしますが、この点については、社会体育の専門家を配置したいと考えておりますので、清水さんの要望にはこたえられると思います。

清水 青年、婦人などあらゆる層から意見を聞くことはよいことだと思います。それが云々だからといって、すぐにはできないけれども、その夢を施策の中に通していただく必要があるような気がします。

市長 市政は市民との密接なつながりをもたなければなりませんので、この点については十分検討してみたいと思います。

島田 よりよい行政は、市民と市が力を合わせたときでできると思うのですが、市民自身もまじめのためにができるか自分で考えてもらうことも大切ではないでしょうか。



また市民も、みんな小さな親切を与える気持は十分もっていると思いますので、市からそれをおこす働きかけが必要だと思つておこすつもりです。市長 たしかにそうですね。市民大学講座にしろ、スキー教室にしろ、どん市から市民に呼びかけよう。日曜日には市民がみんな出て家の周囲の道路をきれいにすることも市民参加を呼びおこすためにはよいことであると思います。

清水 青年、婦人などあらゆる層から意見を聞くことはよいことだと思います。それが云々だからといって、すぐにはできないけれども、その夢を施策の中に通していただく必要があるような気がします。



市からの呼びかけによる行事を多く……(写真は昨年の市民体育祭から)

人間優先を第一とした

健康で安心して暮せるまち

将来の福生市への夢

司会 それでは、今までのいろいろと貴重なご意見をのべていただきましたが、最後に将来への夢を含めて、希望を語っていただきたいと思いますが……

清水 わたくしは多摩川を昔のよううにきれいにしてもらいたいと思います。かつては本当に楽しい遊び場だったのですから……

建設省の管理のためなかなかむずかしいのですが、関係機関と自治体がお互いに話しあって保護してもらいたいと思います。どんどん破壊されている草花丘陵も秋川市にあります、福生の人にとっても大切なレクリエーションの場です。自治体どうしても話しあって自然保護にのりだしてもらいたいですね。

世の中にはお金で買えるものはいくらでもあります、自然はたたくと壊れてしまいます。一度壊れてしまえば元に戻りません。

小河内ダムの水を

もっと流して

司会 内山さんは三年前まで自費で多摩川にたくさんのお金をかけていたとのことですが、多摩川についてどうお考えですか。

内山 現在は水が汚れ、魚も住めませんので、もう放流はしていません。魚が可哀想ですから。



多摩川の最大の原因は小河内ダムの建設にあると思います。そこで水を止めてしまったのですから。しかも羽村の堰でも全然とっていいほど流さない。

ですから、これは本当の夢物語ですが、多摩川をきれいにすることは、あのダムをこわすことです。(笑)

まあ、これは絶対にできないこととでは、とにかくもっと水を流してもらうことです。

東京都があつたダムを造っておきながら、多摩川をきれいにしようなどと呼びかけてもなんにもなりません。

一同 たしかにそのとおりですね。

ほしくない高層住宅

島田 私の将来の福生市にかける夢は、もう市内には高層住宅は絶対に建てないことです。日照権などいろいろな問題もあります。現在のニューヨークのストラム街も

かつては一歩進歩的なアパートであったのですが、次第に人々が入らなくなっていくという終路を歩んでいます。

そして、人口はなるべくおさえ、そこに住む人々が本当に健康な生活が営めるようにならなくつくりをしてほしいと思います。

坂本 私は基地の今後を考えると関東地区の基地の集中によって、飛行機の発着が多く集まることが予想されますので、騒音に対して強硬な申し入れをしていくことが住みよいまちづくりには必要だろうと思います。

島田 こういうことは、何度も申し入れてもらいたいですね。

心配される大気汚染

内山 私は市民の健康維持には、空気の汚れが大きな問題になってくると思っていますので、将来はこの対策をたてなければならぬと思います。昨年からは市内には呼吸器系の疾患がふえておりますし、最近では界のアレルギーが非常に多くなり、これは目に見えない空気の汚染が原因と思われま

す。私が一番感じるのは、各家庭の暖房による空気の汚染です。自動車や工場の煤煙はある程度規制によって防げますが、人口がふえた場合は各家庭の暖房をやめさせるわけにはいきません。

だから、本当に夢のような話ばかりで恐縮ですが、これからは各家庭から暖房による空気の汚染なども対策が必要であると思います。大きな暖房施設を中央につくり、そこから各家庭に送るなどの方法を考えなければならぬのではないかと。

一同 たしかに、人口がふくれあがって来ると、こういう点に対しても真剣に考えなければなりません。

内山 それから、ホテル公園が熊半にできるとのことですが、加美の玉川上水にもかなり発生しておりますので、是非保護してもらいたい。養殖も行なってもらいたいと思います。あそこで養殖すれば、下の方にも流れていき、市内でもっと見られると思いますので……

また、あの雑木林は保存してもらいたいと思います。

市長 たしかにあそこは福生で一番美しい所です。是非ホテルの養殖とあわせて、周囲の環境の保存にも努力したいと思えます。

司会 桜沢さんは若い人の立場から将来の夢はどんなことを描いていますか。

桜沢 現在の福生市は福生駅の西口にしてもこちゃこちゃしすぎている感じがします。

これは本当に夢のような話ですが、将来は商店街は西口から西口へまとめてしまい、また自動車を通れる道も限定しました地下を通させるなどしてしまえばすっきりし

たまちづくりができると思えます。そして、人が通る道は芝生や草花、木などを植えてみどりの散歩道とする。そして市民が安心して暮せるまちになってほしいと思います。

そして、人間優先を第一としたまちづくりをのぞんでいます。

司会 どうもありがとうございます。それぞれこれからの福生市に対する希望と夢を語っていただきましたが、いずれも、これからのまちづくりを考える場合、重要な問題ばかりのような気がしています。

それでは時間もだいぶたちましたので、市長に本日のみなさんのご意見をお聞きした感想をお願いいたしまして終りにしたいと思います。

市長 本日は、いろいろと貴重なご意見をお聞かせいただきました。ありがとうございます。

これからの市政への指針を与えていただくという点で大変参考になりました。

本日みなさんがのべられました。お考えは十分参考にし、これからも住みよいまちづくりを目指してがんばりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

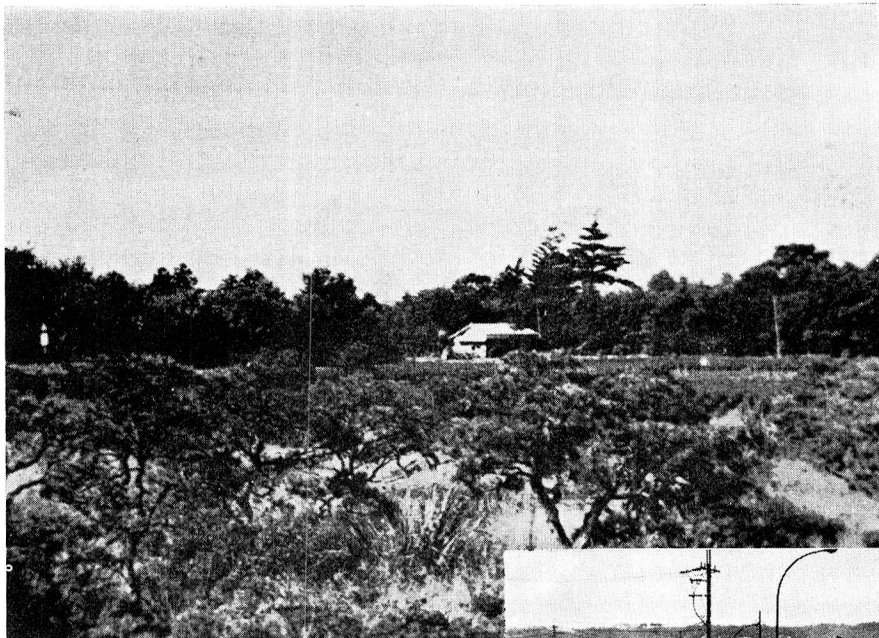
司会 それでは時間もだいぶたちましたので、このへんで終りたいと思います。どうも長時間ありがとうございました。

目でみる

今と昔

昭和9年の
① 熊川村

提供
岡野国蔵氏
(熊川34)



上 昭和九年の熊川村天の
う坂の風景

中央の家が現在の武蔵野橋(拝島立体交差)を下がった所です。手前は石川さんの松の植木畑、附近はうつそうとした雑木林だった下は同じ位置からの現在の写真ですが、疾走する車が続き昔のおもかげはありません。

牛浜地区に

ちびっこ広場を建設

このたび牛浜五九番地に、市民の協力で、こどもの遊び場である「ちびっこ広場」をつくることになり、工事にとりかかりました。これは、地価の高騰などで、土地の確保が困難になってきたため昨年から市民のみなさんに土地の貸付をお願いして、近所の方々のご協力で建設のはこびとなりました。広場は、こどもが自動車などの心配もなく安心して遊べるように、まわりには金網柵をはりめぐらし、中には砂場などを

つくる計画で、一月下旬完成の予定です。

この地区は、こどもが安心して遊べる場所がなく、以前からこどもの遊び場をつくってほしいと要望されていたところで、こども達はもとより、近所の方も大喜びです。

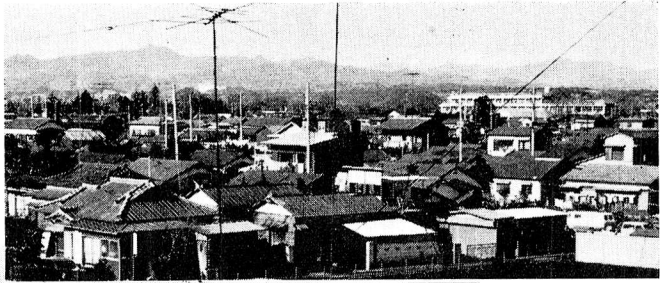
なお、このような空いている土地がありましたら、ぜひご協力をお願いします。

くわしいことは企画調査室企画係(電話51-1541-1内線211)へお問い合わせください。

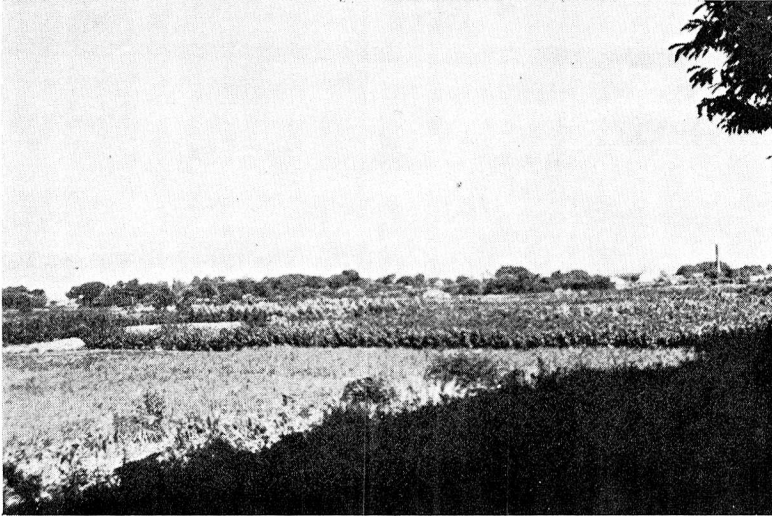
今後の整備計画
面積 約九五八㎡、ベンチ 十基
砂場 一、すべり台 一、ブランコ 一、安全ブランコ 一、シーソー 一、鉄棒 一



今月から、みなさんから寄せられた福生の昔の写真を、目で見ると昔々として、掲載いたします。なお、みなさんのご家庭に昔の写真や絵などがありましたら、是非広報係まで、ご連絡ください。ご協力をお願いします。写真は複製して貴重なまちの歩みの資料として保存したいと思えます。



左は、同じく昭和九年の熊川村、一面桑畑の海でした。右の煙突が片倉製糸工場です。上は現在の写真ですが、まさに『桑田碧海』の感がします。



新入学児童を

お持ちのみなさんへ

今年の春、小学校へ入学される新入学児童(昭和41年4月2日～昭和42年4月1日生れ)には、教育委員会から、一月中旬頃、入学通知を各家庭に郵送いたします。この入学通知には、お子さまの入学される学校、健康診断の日を記入してありますので、指定された日時、必ず入学通知書を持参のうえ、検査をうけてください。なお、入学通知書が届かない方やその他くわしいことは福生市教育委員会にご相談ください。(電話511511内線277)

働きたい

高齢者のみなさんへ

はがき相談を実施

福生駅前にある東京都福生高齢者職業相談所(主に五五才～六五才を対象)では、昨年五月の開所以来、すでに三百名余の方が就職されましたが、いろいろな都合で相談所へ行けない方々のために、『葉書による職業相談』を受け付けることになりました。

職をさがして欲しい方は、『氏名、住所(電話番号)生年月日、簡単な職歴、希望職種』を書いて

左記へお送りください。必ず相談所から連絡があります。

また、豊富な人生経験のある高齢者を雇いたい方も、ぜひご連絡ください。

福生市本町一四番地「ふじやビル五階」福生高齢者職業相談所
電話〇四二五(五)二一〇二、三

無料講演会の

お知らせ

福生市婦人会では、つきにより無料講演会を開催いたしますのでお出かけください。

日時 二月七日(水)

午後一時

場所 三和銀行三階ホール
テーマ 『奥さまいつまでも若く美しく』

講師 ドクトル・チエコ



建設のひびき

健康ですみよいまちをつくるために、市では今どんなしごとをしているか、お知らせします

現在着工中及び

着工予定の工事

市民のみなさまにはご迷惑をおかけすると思いますが、ご協力をお願いします。

・水道工事

▽第五小学校横通り(都市計画街路二・二一九号線)五丁目市線土手を横断し、約三百米にわたリ口径二百五十ミリの配水管が埋設されます。

工事費は二六〇万円です。二月二十八日まで完了予定。

▽原ヶ谷戸地区、多摩ランドリ上前約一〇五米にわたリ横田飛行場周辺中央幹線排水路工事にともない水道管移設工事を行います。

工事費は一〇四万円です。二月二十八日まで完了予定。

▽内出の信号附近から都立多摩工業高校の横まで(都市計画街路二・二一〇号線)約四五〇米にわたリ口径一〇〇ミリ、二〇〇ミリの配水管が埋設されます。

工事費は六一七万円です。二月二十八日完了予定。

・土木工事

▽原ヶ谷戸地区、志茂二一八番

地際から多摩ランドリ前を通り志茂二二五番地際までの約一五〇米と志茂一地区玉川上水際から玉川上水、奥多摩街道の下を通り下の川までの約一三〇米にわたリ排水管が埋設されます。この工事は、横田飛行場周辺中央幹線排水路工事で、工事費は八四一〇万円、三月三十一日まで完了予定。

▽志茂地内、小林竹屋横から青梅線まで(市道五一四号線)の約一八六米にわたリ舗装工事をこなっております。

工事費は九四万円です。二月二十六日まで完了予定。

▽東口駅前通り(市道五四七号線)駅前から柳通りまでの約七一米にわたリ側溝改修工事をを行います。

工事費は七六万円です。二月二十日までに完了予定。

・その他の工事

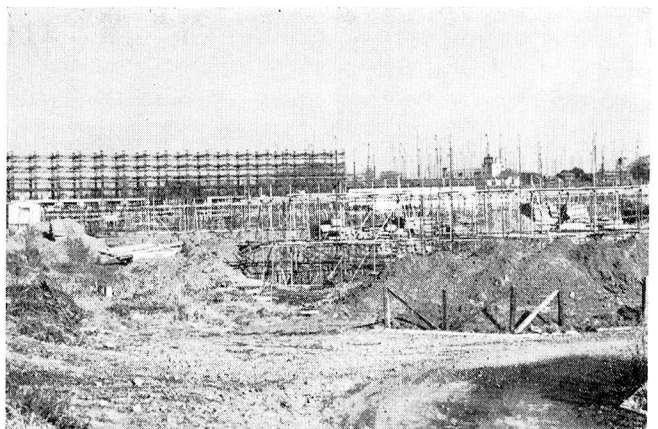
▽第六小学校防音併行第四期工事をなします。

工事費は一九七万九千円です。三月三十一日までに完了予定。

▽福生緑地南公園の整備工事(フェンス設置、芝植、バックネット設置等)を行います。

工事費は五八万八千円です。三月三十一日までに完了予定。

多摩河原に団地を建設中 =入居は昭和49年4月=



みんなに親しまれてきた熊川のたんぼに、新しい団地の建設が進められています。この団地が完成しますと、加美平団地と熊川団地について福生市では三番目の団地となります。建設場所は、熊川地区の国鉄五日市線をほさんで上下のところ。

この団地は、日本住宅公団の団地で、面積は約四七〇〇〇平方メートル、建物は十一階建一棟を中心に、八階建五棟、五階建十一棟です。全戸数は八六四戸。

すでに、四十七年七月から工事が始められ、四十九年四月の入居(予定)を目標に着々と工事が進められています。

この団地が完成するところには、熊川地区のたんぼの区画整理地区も、近代的な住みよ、環境の住宅地に変わることになります。

完成近し！

市民体育館

市営プールと都立福生高校の間に、もうすぐりっぱな市民体育館が誕生します。

内部は、バスケットコート（二面）やバレーコート、バドミントン、庭球のほか、卓球場、柔、剣道場、弓道場、図書室、トレーニング室、会議室、観覧席なども設けられる計画です。

すでに建物の外観はほぼできあがり、四月のオープンめざして総仕上げと内装工事にビッチをあけています。

市民のみなさんの体向上と健康維持、文化の向上のためにご利用いただきます。

急ピッチで進む市民体育館工事

現在、福生市内で、関係市民のみなさんのご協力をいただきながら三路線の都市計画道路の工事が進められております。

▽ 福生都市計画二・二・七号線（青梅線立体交差を含む）築造工事、完了予定、昭和四十八年十一月——加美平土地区画整理事業地区内

▽ 福生都市計画二・二・一九号線（五日市線立体交差を含む）

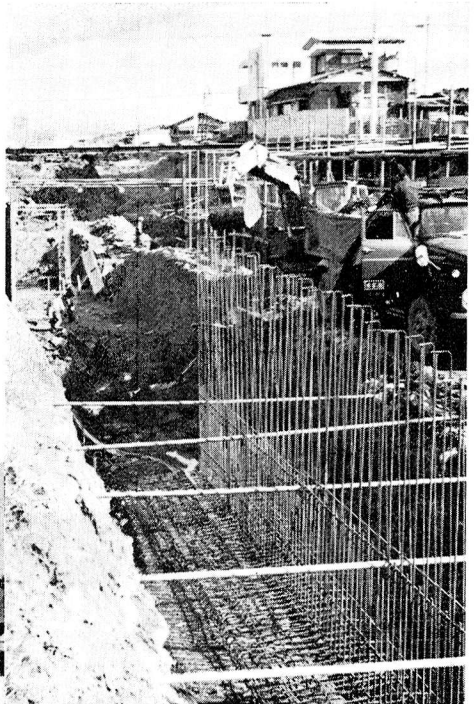
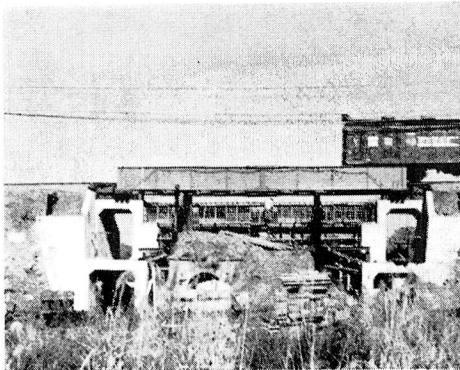
すすむ

都市計画道路工事

築造工事、完了予定、昭和四十八年四月——多摩河原区画整理事業地区内

▽ 福生都市計画二・二・一号線築造工事、完了予定、昭和四十八年三月——（東京都施行）熊川地区内

五日市線立体交差工事



青梅線と立体交差する
都市計画街路2・2・7号線工事

まちの話題・まちの話題・まちの話題・まちの話題・まちの話題・まちの話題

野犬捕獲に協力

東京都が竹田トヨさんを表彰



十二月十八日、竹田トヨさん

(福生市熊川一〇六才)は、五年にわたり自宅附近の野犬捕獲に協力したため、東京都から表彰されました。

五年前、竹田さんの家の周囲は外人ハウスが多かったためか、野犬が多く、畑の作物は荒される一方、また青梅保健所にたびたび捕獲を連絡したが、捕獲人が来ると犬は逃げたまま、なかなかつかまらない。そこで竹田さんは市の衛生課

がつくった捕獲箱を管理し、現在まで三十四以上を捕獲して青梅保健所に連絡し、野犬捕獲に協力したことが認められたのです。

五年間の捕獲活動について竹田さんは「えさは豚の骨を使い、また、二三日たつと捕獲箱の近くへ来てもなかなか入りませんでした。そこで、骨に醬油をかけて焼きなおい使いましたがよく入りました。

最近では、この捕獲箱のために外人もよく犬をつなぐようになりました。ただこの捕獲は私だけでなく、近所の人たちが協力して行なったものですので……」とひかえめて語っていました。



牛のはなし

今年は丑どし、表紙の写真は石川清さん(熊川290)が多摩河原で飼っている牛の親子です。

石川さんは、現在13頭の牛を飼っていますが、もう飼いはじめてから15年目です。

かつては市内にもたくさんいた牛も、都市化のために姿を消し、現在では石川さんのほか、8戸、41頭が市内で飼われているにすぎません。飼育方法は多摩河原につないだままで毎日えさを与えに行くだけです。

雨の日、雪の日、夜など可哀想な気もいたしますが、このように外で飼い慣らすと、冬は寒さにたえるため毛が十分発生し、また夏は毛がうすくなるなど気候に順応し、病気一つせず丈夫であるという。

将来のことについてお聞きしますと「周囲の都市化により、あと10年もたたないうちに、福生市からは牛はいなくなるでしょう。場所もなくなりそうですし、若い人もやりませんから」と語っていました。



多摩川にかもの群れ

一市民からのたより

つぎのような手紙を二主婦からいただきました。
「今年からでしょうか、昨年からでしょうか、この所五日市線の鉄

橋から多摩橋にかけて、かもをはじめとする多くの水鳥が来ています。みんな、この水鳥を大事にしたいものです。日曜日などのひとときを多摩川へいって水鳥と話をしてみたいかがでしょうか。

私は、福生の川へたくさんのカモが飛んできたことが、うれしくてたまりません」

係では早速多摩川に行き、カメラでこの姿をたええようと望遠レンズでねらってみましたが、すぐ気づかれ、多くの群れにはみんな逃げられてしまいました。

写真はやつのことでとらえた五羽のカモの姿です。人間に対しては非常に敏感のようです。あまりびびくりさせないよう遠くで静かにながめたものです。

お正月づかれ

お正月が終ると、心身に疲れを感じ、身体の調子がおかしいという人が多いようです。

飲みすぎ、年末の忘年会にがついて、お正月の新年会など飲む機会が多いので、お酒づかれというわけです。胃と肝臓の消化器をいじめぬいたわけですから、これに十分栄養を与えることが大切です。

消化しやすいパン、煮うどんなどを主にして、適宜健胃剤とか強肝剤、ビタミン剤をのむと回復も早いです。

食べづかれ 飲むばかりでなくどうしても食べすぎてしまうのも年末年始のころ。お魚、肉、もちお菓子といずれもかなり胃に負担のかかるものが多いので、お酒の場合と同じく、まず胃腸を休めることが第一です。

接待づかれ 年末の多忙にひきつづいて、お正月の年始客の接待これは主婦がいちばん被害者でしょう。一通りの接待が終わったら、一日ゆっくり休養して、早くこの疲れを追い出すことです。また家族の人も主婦の負担を少くするよう、協力しましょう。

着づかれ 若い女性など着なれない和服を着たり、かつらをかぶったりしたため、肩がこったり、身体がだるかったりします。早くふだんの軽さにかえって、体操やナワとびで、筋内の緊張をときほぐしてください。